

児童発達支援 支援プログラム



社会福祉法人なかよし会
なかよしキッズ
なかよしクラブ
なかよしひろば
公表日：2025年2月28日

基本理念

社会福祉法人なかよし会
基本理念

みんな
なかよし

愛情いっぱい 夢いっぱいの
社会福祉法人なかよし会

ビジョン

私たちは「楽しかった」と「ありがとう」がいっぱい
あつまる社会福祉法人になります。

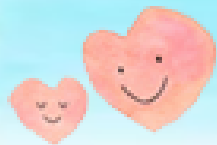
運営方針

1. 子ども達に「楽しかった」と「ありがとう」を!
2. 保護者に「楽しかった」と「ありがとう」を!
3. 職員に「楽しかった」と「ありがとう」を!
4. 地域に「楽しかった」と「ありがとう」を!

方針

「楽しい」がいっぱい笑顔あふれるなかよしの療育

療育方針



なかよく 明るく 楽しく

をモットーにした療育施設

みんなの心が通い合う

療育を目指します

愛情いっぱい夢いっぱいの
子育てを応援します

療育目標

なかよく遊ぶ子ども

明るく元気な子ども

自分の意思を伝えられる子ども



療育内容



- 日常生活における食事、排泄、着脱等の身辺自立の支援
- 情緒の安定と基本的運動機能の発達支援
- 集団生活への適応支援

提供方針

専門職による支援

作業療法士、発達障害地域支援専門員、教員（小学校、特別支援学校）、保育士など経験ある様々な資格をもつ職員が在籍し、それぞれの視点から支援の方針を考えていきます。

充実した保護者支援

ペアレントトレーニングや就学に関する学習会、学校見学への引率など保護者との面談だけに留まらない様々な支援を行っています。

連携を大切に

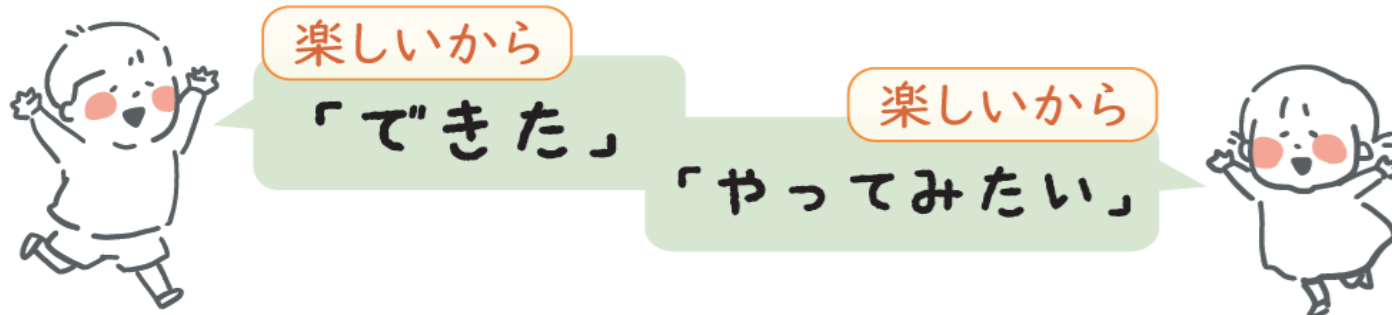
子どもが過ごす場は事業所だけではなくありません。子どもが日々を過ごす場所（保育園、こども園、学校、児童クラブ等）で力を発揮できるよう、日々の連携が図れる体制を作っていきます。

大きな集団につなげるための小集団療育

就園就学を見据えて、大きな集団の中でも自分の力を発揮できるよう小集団で成功体験を積んでいきます。

からだを動かすあそびを中心とした発達支援

ダイナミックなあそびによる気持ちの発散や体幹を意識したプログラムを取り入れ、姿勢保持や指先の操作性など育てていきます。



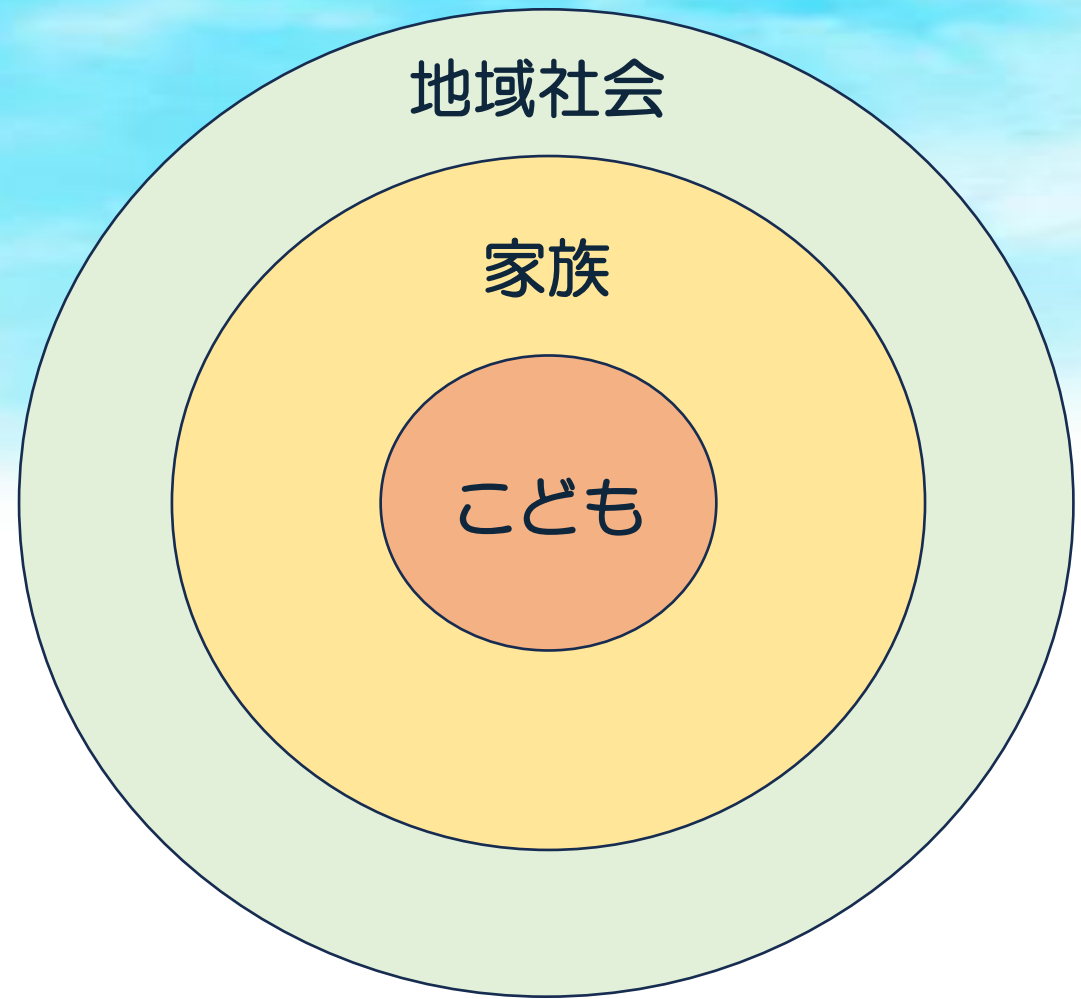
からだを動かすあそびの中で、
こどもの達成感と自己肯定感を育みます。



なかよしが行う発達支援のポイント

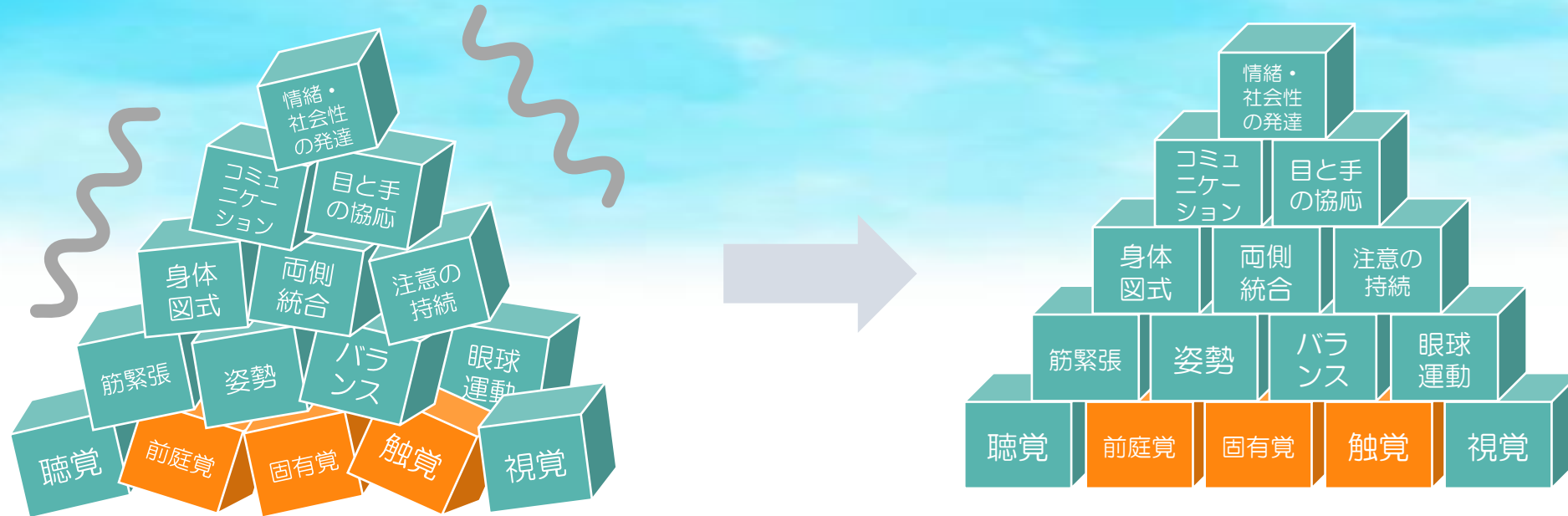
1 子どもを知り 持っている力をひきだす

こどもの行動やその背景、発達段階を知ることでその子の良さを引き出す支援を行います



なかよしが行う発達支援のポイント

2 発達の土台になる力を養う

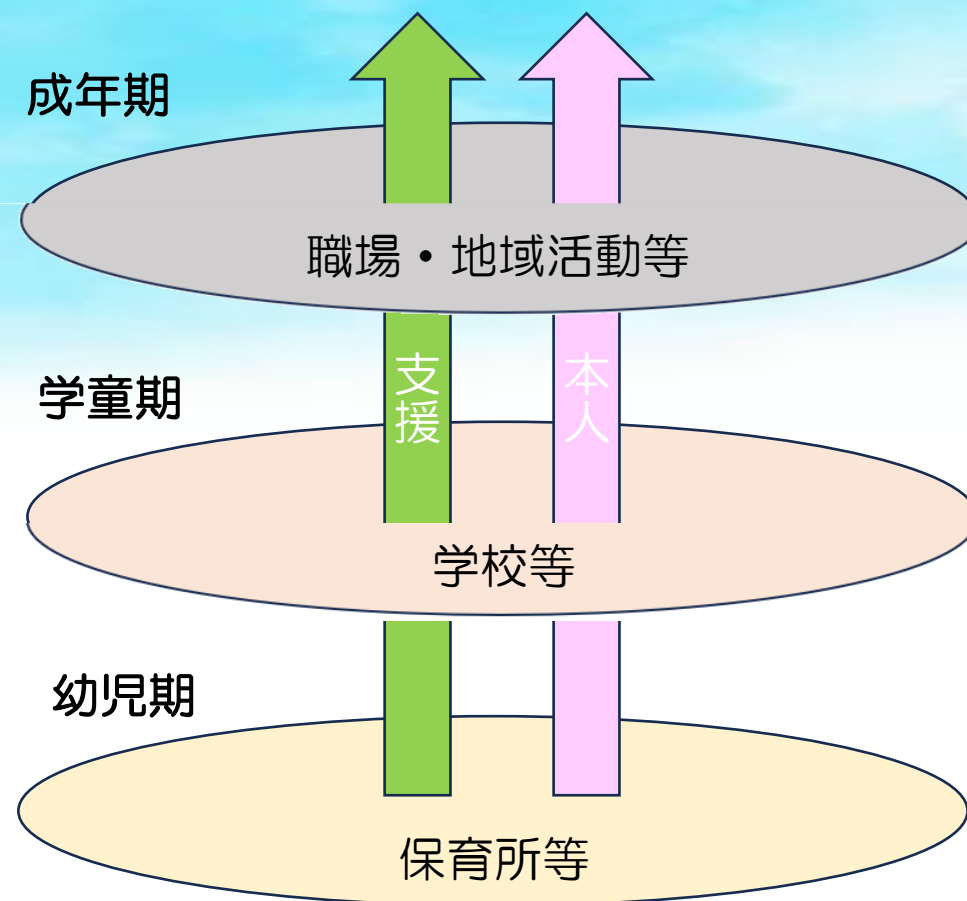


土台となる感覚の発達を促すため、より体験的な身体を使ったあそびをベースに取り組んでいきます

なかよしが行う発達支援のポイント

3 就学やその後の ライフステージに向けて

幼児期から学童期にかけて、
成年期を見据えたつながりの
ある支援を行います



事業所情報

～ 楽しい療育 楽しむ療育 ～

なかよしキッズ



支援：児童発達支援
放課後等デイサービス
保育所等訪問支援

住所：鹿児島市吉野町726-25

なかよしクラブ



支援：児童発達支援
放課後等デイサービス
保育所等訪問支援

住所：鹿児島市吉野町847-2

なかよしひろば 相談支援事業所 なかよしのわ



支援：児童発達支援
放課後等デイサービス
保育所等訪問支援
障害児相談支援

住所：鹿児島市城山2丁目7-1

営業日

月曜～金曜
(土曜に行事が入ることもあります)

休業日

お盆：8/13～8/15
年末年始：12/29～1/3

営業時間

9:00～18:00
児童発達：①10:00～13:00 ②14:30～16:30

送迎の有無

送迎あり
(地域については要相談)

支援内容

5領域		支 援 内 容
本人支援	健康・生活	生活スキルの自立に向けた支援 ・ 荷物の準備、片付け（児に応じて荷物の準備、後片付けの手順表の活用） ・ 食事面（咀嚼や嚥下の様子に応じてご飯の形状を替えての提供、箸の操作性を高めるにあたり段階づけた補助具の活用、姿勢保持に関する支援の実施） ・ 排泄面（提示誘導を行いトイレに行くことの習慣化を図る、短い時間からトイレトレーニングを行い、成功体験を重ねる支援、排便に必要な体幹を育む身体作り）
	運動・感覚	姿勢と運動、動作の基本的技能の向上を目指す身体あそびを中心とした支援 ・ 生まれてから一人歩きするまでの身体の発達に応じた回旋、すり這い、四つ這い、高這いを中心としたサーキット活動、公園の遊具あそびを通して様々な運動機能動作の向上または感覚の発達を育む ・ 農園での泥んこあそびや年間を通しての散策活動で五感を育んだり、プールでの水あそび、小麦粉粘土や片栗粉粘土、クッキングなどで体験したりすることで様々な感覚を育む
	認知・行動	認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 ・ 話し手に注目を向けるための視覚支援ツールの活用、手あそびや歌・絵本を通して声の調整や力加減、大小や速さなどの調整を図る ・ あそびを通して数や色、時間などの理解を高める ・ タイムタイマーを活用した支援（時間の感覚が見て分かりやすいこと、見通しをもって過ごすで次の行動への切り替えるきっかけ作りの指標となる）
	言語 コミュニケーション	言語の形成やコミュニケーション向上の支援 ・ 手あそびや歌・絵本等を通して言葉や豊かな感性を育む。生活動作（食事や歯磨きうがい）やあそび（シャボン玉や風船など）を通して口元や口腔機能の向上を高める ・ 言葉でのやりとりや非言語コミュニケーション（身振り/指差し/サイン/ジェスチャーなど）でのやりとりを通して、人とのかかわりの楽しさや喜びを感じたり達成感を味わったりできることで肯定感を高める
	人間関係 社会性	アタッチメントの形成、集団への参加 ・ あそびやふれあいを通して支援者とのかかわりを深めることで、まずは安心できる関係性（アタッチメント）を築き、対支援者（対大人）から対子ども同士への社会性の発達を促す ・ あそびを通じた社会性の発達（対お友だちを意識できるような活動の設定）

家族支援	- 子育てや、成長、発達、支援内容に関する相談、助言（施設長、事業所職員） - 保護者向け「なかよし発達相談」の案内（専属作業療法士） - 契約医療機関の心理士による相談 - 保護者向け学習会の開催（市教委による就学学習会） 「なかよしタイム」の開催（保護者向けプチ学習会と交流の場としての茶話会） - ペアレントトレーニングの開催（全6回） - 就学先見学の引率	移行支援	インクルーシブに向けた取り組み - 事業所内の小集団での支援からできるようになったこと、成功体験からの自信といったものを、保育園やこども園、学校などの大集団の場でも発揮できるための支援 - 相談支援や各併行通園先、学校での様子を知って連携していくことで、より本人が力を発揮できるような環境を整えていく - 保育所等訪問支援を活用し、子どもが集団で生活する場を深く知り、集団の中で本人が力を発揮できるような支援を併行通園先や学校と一緒に考えていく
地域支援 地域連携	- 契約医療機関（やまびこ医療福祉センター）と連携しての情報共有 - 併行利用先を中心に、他事業所との連携、協力 - 地域の児童発達支援センターの連携会議等への出席 - 地域の方との交流（ハロウィン、いも堀り） - 同法人内の保育園や事業所との連携（行事への参加など） - 保健センターとの連携 - 地域イベントでの発達相談ブース設置 - 保育士養成学校の実習生受け入れ - 教員免許状取得に係る介護等体験の受け入れ	職員の質 の向上	【支援スキル向上のための研修】 - 児童発達支援管理責任者（基礎研修・実践研修・更新研修） - 強度行動障害支援者養成研修 - 相談支援従事者（初任者研修・更新研修） - 他の事業所の公開療育への参加 - やまびこ医療福祉センターの専門職による研修 - 感覚統合セミナー 【全職員向け短時間研修（15研）】 - 各種マニュアル（BCPなど）の研修 - 虐待防止に関する研修 - 衛生管理の実践訓練 - 発達支援や制度、法律に関する研修 - 実践方法や療法についての研修
主な行事等	- 公開療育 - 療育参観週間（保護者向け、併行通園先向け） - 親子遠足 - 保育療育実践交流（同法人内保育園にて療育について知ってもらうための交流） - ハロウィン、クリスマスなど季節に合わせた行事 - 定期的なスポーツあそび、英語あそび、ダンスあそび、音楽あそび（音楽療法士による）		

事業所名

なかよしひろば

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		「みんななかよし」愛情いっぱい　夢いっぱいの社会福祉法人なかよし会							
支援方針		「楽しい」がいっぱい笑顔あふれるなかよしの療育を目指します							
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	生活スキルの自立に向けた支援 ・荷物の準備、片付け（児に応じて荷物の準備、後片付けの手順表の活用） ・食事面（咀嚼や嚥下の様子に応じてご飯の形状を替えるの提供、箸の操作性を高めるにあたり段階づけた補助具の活用、姿勢保持に関する支援の実施） ・排泄面（提示誘導を行いトイレに行くことの習慣化を図る、短い時間からトイレトレーニングを行い、成功体験を重ねる支援、排便に必要な体幹を育む身体作り）							
	運動・感覚	姿勢と運動、動作の基本的技能の向上を目指す身体あそびを中心とした支援 ・生まれてから一人歩きするまでの身体の発達に応じた回旋、すり這い、四つ這い、高這いを中心としたサーキット活動、公園の遊具あそびを通して様々な運動機能動作の向上または感覚の発達を育む ・農園での泥んこあそびや年間を通しての散策活動で五感を育んだり、プールでの水あそび、小麦粉粘土や片栗粉粘土、クッキングなどで体験したりすることで様々な感覚を育む							
	認知・行動	認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 ・話し手に注目を向けるための視覚支援ツールの活用、手あそびや歌・絵本を通して声の調整や力加減、大小や速さなどの調整を図る ・あそびを通して数や色、時間などの理解を高める ・タイムタイマーを活用した支援（時間の感覚が見て分かりやすいこと、見通しをもって過ごすで次の行動への切り替えるきっかけ作りの指標となる）							
	言語コミュニケーション	言語の形成やコミュニケーション向上の支援 ・手あそびや歌・絵本等を通して言葉や豊かな感性を育む。生活動作（食事や歯磨きうがい）やあそび（シャボン玉や風船など）を通して口元や口腔機能の向上を高める ・言葉でのやりとりや非言語コミュニケーション（身振り/指差し/サイン/ジェスチャーなど）でのやりとりを通して、人とのかかわりの楽しさや喜びを感じたり達成感を味わったりできることで肯定感を高める							
	人間関係社会性	アタッチメントの形成、集団への参加 ・あそびやふれあいを通して支援者とのかかわりを深めることで、まずは安心できる関係性（アタッチメント）を築き、対支援者（対大人）から対子ども同士への社会性の発達を促す ・あそびを通じた社会性の発達（対お友だちを意識できるような活動の設定）							
家族支援		・子育てや、成長、発達、支援内容に関する相談、助言（施設長、事業所職員） ・保護者向け「なかよし発達相談」の案内（専属作業療法士） ・契約医療機関の心理士による相談 ・保護者向け学習会の開催（市教委による就学学習会） ・「なかよしタイム」の開催（保護者向けフチ学習会と交流の場としての茶話会） ・ペアレントトレーニングの開催（全6回） ・就学先見学の引率				移行支援		インクルーシブに向けた取り組み ・事業所内の小集団での支援からできるようになったこと、成功体験からの自信といったものを、保育園やこども園、学校などの大集団の場でも発揮できるための支援 ・相談支援や各併行通園先、学校での様子を知って連携していくことで、より本人が力を発揮できるような環境を整えていく ・保育所等訪問支援を活用し、子どもが集団で生活する場を深く知り、集団の中で本人が力を発揮できるような支援を併行通園先や学校と一緒に考えていく	
地域支援・地域連携		・契約医療機関（やまびこ医療福祉センター）と連携しての情報共有 ・併行利用先を中心に、他事業所との連携、協力 ・地域の児童発達支援センターの連携会議等への出席 ・地域の方との交流（ハロウィン、いも堀り） ・同法人内の保育園や事業所との連携（行事への参加など） ・保健センターとの連携 ・地域イベントでの発達相談ブース設置 ・保育士養成学校の実習生受け入れ ・教員免許状取得に係る介護等体験の受け入れ				職員の質の向上		【支援スキル向上のための研修】 ・児童発達支援管理責任者（基礎研修・実践研修・更新研修） ・強度行動障害支援者養成研修 ・相談支援従事者（初任者研修・更新研修） ・他の事業所の公開療育への参加　・やまびこ医療福祉センターの専門職による研修 ・感覚統合セミナー 【全職員向け短時間研修（15研）】 ・各種マニュアル（BCPなど）の研修 ・虐待防止に関する研修 ・衛生管理の実践訓練 ・発達支援や制度、法律に関する研修 ・実践方法や療法についての研修	
主な行事等		・公開療育　・療育参観週間（保護者向け、併行通園先向け） ・親子遠足　・保育療育実践交流（同法人内保育園にて療育について知ってもらうための交流） ・ハロウィン、クリスマスなど季節に合わせた行事　・定期的なスポーツあそび、英語あそび、ダンスあそび、音楽あそび（音楽療法士による）							